

■ 介護の仕事って？

介護の仕事とは、利用者の日常生活に必要な援助を行うのが主な仕事です。施設の中であれば「介護職員」、利用者の自宅で介護を行う人は「ホームヘルパー」などと呼ばれています。

☑ 主な職種

・ 介護職員

高齢者や障害者の食事や入浴、排泄、着替え、移動など生活の全般に渡り必要な援助を行います。

【主な職場】特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者支援施設、デイサービスセンターなど

・ ホームヘルパー

利用者の家庭に訪問し、介護や家事の援助を行います。

【主な職場】訪問介護事業所、障害福祉サービス事業所など



■ 介護の資格 あれこれ

介護の仕事は、資格がなくてもできるものもあります。しかし、利用者の方に寄り添い介護を行うには、専門の知識が必要です。ここでは代表的な介護の資格をご紹介します。

☑ 介護職員初任者研修

介護を行う上で、介護者に最低限必要な知識や技術のほか、それを行う際の考え方を習得できる研修です。「ホームヘルパー2級課程」に代わる研修で、介護の入門ともいえる資格です。

☑ 介護職員実務者研修

現在介護の仕事をしている人、また、これから介護職になろうとする人が、幅広く知識・技術を習得できる研修です。「ホームヘルパー1級課程」や「介護職員基礎研修」に代わる研修です。

☑ 介護福祉士

身体や精神の障害により日常生活に支障がある方の入浴、排泄、食事など生活上必要な介護を行い、またその方やその介護者に対して介護に関する指導を行う専門職の国家資格です。介護職を代表する資格として、社会的評価が高まっており、求人においても介護福祉士資格を希望する場合が増えています。



介護の仕事は、人の生活を支える仕事です。利用者の方の状況に応じて、仕事内容や働き方はさまざまです。そのため、退職後の人生経験豊かな中高年齢層や子どもを持つ母親の職場として、介護の仕事が、今注目されています。

「資格がないとだめなのは」「経験がないから」などさまざまな理由で、介護職をあきらめていませんか。日々の生活で身につけた生活力とコミュニケーション力があれば、だれでも介護の世界に入れます。

人の生活を支え、人から元気をもらおう介護の仕事に、あなたも携わってみませんか。